

5904-0251

携帯型ロフト・ライ計測器Ⅱ（右利きアイアン用） 使用説明書



※画像はイメージです

製品の特徴

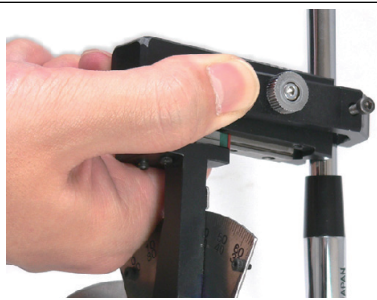
持ち運びの容易なコンパクト・サイズながら、ロフト、ライ、フェイス・プログレッション(F.P)を正確に計測可能です。
試打会、クラブハウス、練習場等、工房の外でアイアン・ヘッドのスペック・フローを確認したい場合にお役立て下さい。

注意事項 ※右利き用アイアンにのみ、対応しております。

※本品で計測可能なライは、スコアラインを基準としたもので、ソールを基準としたライは計測できません。

※ヘッドのF.Pが極端に小さいグースネックのヘッドや、ホーゼルやソケットが軸方向に長い場合等、計測できないものがあります。

※本書中の画像は開発中のもので、実際の商品とはディテールが異なる場合があります。



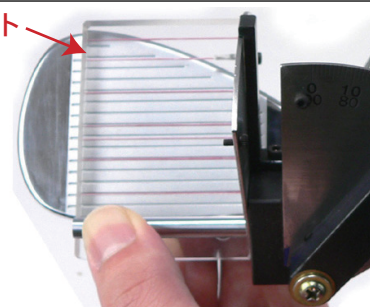
STEP 1. クランプ

ソケット上方でシャフトを挟んでクランプします。

STEP 2. スコアライン合わせ

アクリル・プレートに描かれたラインとスコアラインが平行になるように、プレートをフェイスに当て、フェイスからプレートが浮かないように、クランプの向きを調整します。
精度に影響しますので、クランプ調整は、しっかりと行って下さい。

アクリル・プレート



クランプ制限スクリュー

クランプ固定ダイヤル

STEP 3. クランプ固定

クランプ位置が決まったら、クランプ制限スクリューを指で締め付けた後、クランプ固定ダイヤルを締め付けて、クランプが動かないように固定して下さい。
クランプ制限スクリューは、クランプ固定ダイヤルの締め付け過ぎによる、シャフトの破損を防ぎます。

計測後は、ダイヤル、スクリュー共に緩めてから、クランプを取り外して下さい。

STEP 4. 各種計測

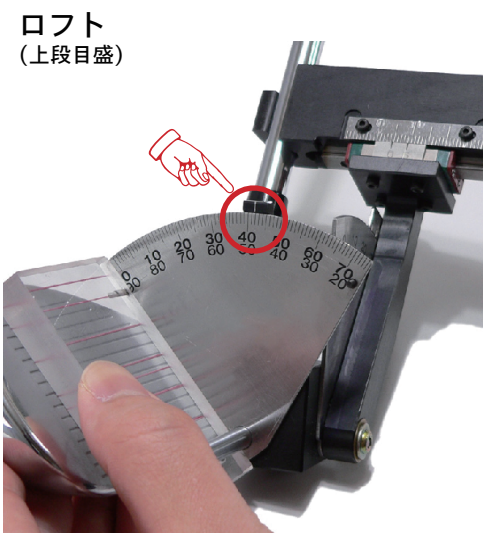
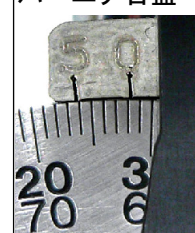
ロフト、ライは、アクリル・プレートをフェイスに当てた状態で読み取ります。

F.Pを計測する際は、写真のようにロフト計が0度を示す位置に立て、ブレードの最突出部に当てて計測して下さい。
この時、アクリル・プレートのラインは、スコアラインと平行である必要はありません。

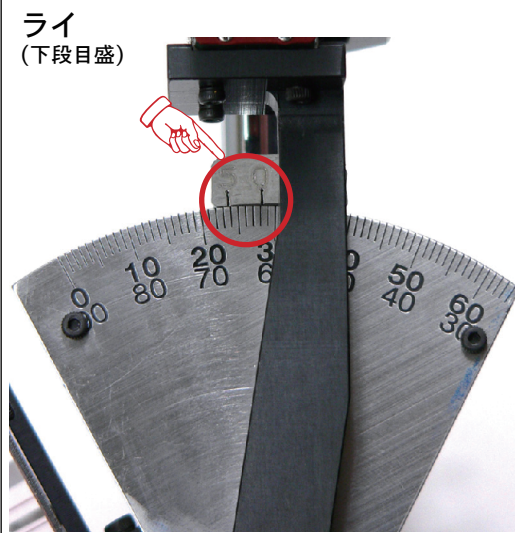
なお、ライ、F.Pのみ、バーニア目盛を備えており、小数点第一位の数値が読み取り易くなっています。

※ライは、「.5」表記のある目盛と、直近の目盛が一致する時、小数点第一位はx.5になります。F.Pは、「.1」から「.9」までに対応したバーニア目盛を備えており、0が一致しない場合は、それ以外的一致する下側目盛が小数点第一位の数値になります。右写真では、それぞれ、F.Pは3.6mm、ライは61.5度と読めます。

バーニア目盛



ロフト
(上段目盛)



ライ
(下段目盛)

フェイス・プログレッション(F.P)

